

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2024年度)

	大学名	対象学部	対象学年	授業形態	協力企業の業種	協力企業名	講義及び取組の概要	Webページ
1	名古屋工業大学	工学部 創造工学教育課程	3年	必修科目、インターンシップ、メインのPBL演習は、必修科目、演習(ここに詳述している2クラスのいずれかの選択必修)。その他にインターンシップの必修科目、研究室活動を行う必修科目等がある。	建設業、製造業、電気・ガス業、運輸業、通信業、サービス業	企業と連携するクラスにおいて連携するのは、株式会社デンソー	2クラスを開講しており、1つは企業と連携している。 もう1つは、企業と直接は連携しておらず、企業の現役・OBである技術士と(個人の立場で)連携している 他にも広い意味でPBLであると考えらることのできる授業を数件、実施している。 ・企業(デンソー)と連携する授業の概要: 3年生をシンガポール南洋理工大学(NTU)と連携し、デンソーが提供する技術的社会課題(未来の物流など)に対して、本学学生とNTUの学生がグループでプロジェクトを提案する。2週間から20日間程度、本学の学生をNTUに派遣して本学・NTU混成のグループで議論を深め、その後は帰国してオンラインでプロジェクトを進め、最終の提案を発表する。期間中、デンソーは提案の他、アドバイザーとして学生を指導する。 ・技術士と連携する授業の概要: 3年生が工学の様々な分野混成のグループを構成して、様々な技術的社会課題に対して事業を計画し、提案する。 6名程度の技術士が、各2グループのアドバイザーとして入り、コストや環境、倫理等の観点から指導する。 各学生は役割を決めて調査、提案を行い、最終的に事業計画書、調査報告書を提出し、プレゼンテーションを行う。 ・他に、1年から3年生が様々な分野の研究室で小課題に取り組みプレゼン、議論を行う研究室ローテーション、国内企業、国外の大学等で3ヵ月課題に取り組む研究インターンシップ等、を実施する。 またプロジェクト提案、事業提案、改善提案を行うPBL型の授業は創造工学教育課程において他に数件ある。	—
2	豊橋技術科学大学	機械工学課程、電気・電子情報工学課程、情報・知能工学課程	4年	必修科目	建設業、製造業、電気・ガス業、運輸業、通信業、不動産業、サービス業	実務訓練Webサイト参照 https://www.tut.ac.jp/university/training/index.html	実務訓練Webサイト参照 https://iaccce.tut.ac.jp/tebiki/	https://iaccce.tut.ac.jp/tebiki/ (豊橋技術科学大学Webページ)
3	愛知県立大学	情報科学部	1年	必修科目	通信業、サービス業	トーテックアメニティ株式会社、トヨタコネクティッド株式会社	〇トーテックアメニティ株式会社 コミュニケーションアプリ(LINE)上で自動応答するプログラム(チャットBot)の企画およびプログラム作成を行い、問題解決能力およびプログラミングスキルを養う。 ・3～4名からなるチームを構成する。 ・受講者は、設定されたテーマについて調査を行い、チームで設定した課題の克服を目指す。 ・プロジェクトの中間報告会と最終成果物発表会を行う。 ・プログラム開発環境は、Google Apps Script(GAS)を使用する(授業内にて受講者に当該授業用のGoogleアカウントを取得予定) 〇トヨタコネクティッド株式会社 ITサービスを実際に提供していく際に必要なステップを実践し、チームで課題に対するソリューションを構築する。 ・大学で学ぶ技術、方法論等を手段としてITサービスを世の中に提供する際に、どういう視点から何について考え、どのようなステップで実現していくかを体験する。 ・IT企業での主な業務を進め方である「複数人で一つの目的を達成するために議論やワークをする」ことを体験する。 ・企業で実際に使用されているビジネスフレームワークの一部をワークの中で試す。4～5名からなるチームを構成し、インターネットで公開されている統計データを読み解き、課題定義の力および問題解決方法の習得を行う。	—
4		外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部	1年、2年	選択科目	製造業、電気・ガス業、運輸業、通信業、小売業、飲食業、金融・保険業、サービス業	東京海上日動火災保険株式会社、岡谷鋼機株式会社、東邦ガス、名古屋銀行、豊田自動織機、ベネッセ・スタイルケア、岡崎信用金庫、CBC中部日本放送、キリックスグループ株式会社、トヨタ自動車、アイシン精機、三井住友海上火災、株式会社コメダ、日本通運、ミツカン・パートナーズ、第一生命保険、パーソルキャリア株式会社、アクアリング、株式会社マキタ	最近では多くの学生が就活開始前の3年次にインターンシップを経験するが、そこで初めて自分の知識不足や社会常識の無さ、思考力の浅さに気づいて愕然とする。社会人として必要な基礎力は、3年生になってから気づいたのでは就活に間に合わない。この授業では、1、2年生のうちに実際の企業課題にチームで取り組むことを通じて、「求められている人材」「身につけるべき能力」「どのような姿勢が必要か」を知り、各自が自分の「伸ばすべき強み」を把握できるようにする。全授業のうち6回は企業講師を招いての実践的な指導となる。世の中はどのように動いているのか、課題をどう解決するか、大学時代にやっておくべきことは何かを知り、いつ社会に出ても恥ずかしくない主体的な姿勢、社会常識、思考力、コミュニケーション力を身につける。	—
5		外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部	2年、3年、4年	選択科目	製造業、小売業、サービス業、飲食業	本多電子株式会社、株式会社中外陶園、株式会社まるや八丁味噌、株式会社ワーロン	愛知県立大学が立地する地域の「ワザ」ある諸産業に目を向け、それらの課題を知り、課題解決に取り組むプロジェクト型実践教育である。学生がグループとなり、地域における「ものづくり」企業を中心に業界研究を行い、学生自らがプロジェクトのテーマを設定し、Project Based Learning(PBL)形式で課題の解決に取り組む実習を行う。	https://www.aichi-pu.ac.jp/news/2024/news_20241004_014251.html (愛知県立大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2024年度)

	大学名	対象学部	対象学年	授業形態	協力企業の業種	協力企業名	講義及び取組の概要	Webページ
6	愛知学院大学	経営学部	1年	選択科目	製造業、小売業	株式会社小川(愛知県名古屋市中区)	授業「アントレプレナーシップ入門」(春・秋)で連携企業からテーマをいただき、デザイン思考でソリューションをプレゼン提案している。連携企業とは知財の取り扱い等にあたり、受託事業契約を締結している。	—
7		健康科学部健康科学科	3年	ゼミ・研究室	健康づくり教室	四日市市健康づくり課健康づくり係	保健事業指導者支援事業 健康づくり運動の実際:転倒予防のための筋力とバランス能力向上の運動	—
8		健康科学部健康科学科	3年	ゼミ・研究室	健康づくり教室	大府市市民協働部協働推進課	おおぶアカデミー(大学等連携講座)座って行うリズムと認知機能向上の運動プログラム	—
9		健康科学部健康科学科	3年	ゼミ・研究室	健康づくり教室	名古屋市と愛知学院大学との連携講座	なごや健康カレッジ健康長寿を目指して“健康寿命を延ばす6つの知恵”転ばない体づくりのための筋肉をつけよう！	—
10		健康科学部健康栄養学科	3年、4年	ゼミ・研究室	小売業	フォーブレイン株式会社	地域薬局における栄養指導による疾病予防の試み	https://navi.agu.ac.jp/topics/topics-4438/ (愛知学院大学Webページ)
11	愛知学院大学	全学部	1年、2年、3年、4年	自由選択科目	地方自治体	厚沢部町(北海道桧山群)	厚沢部町の地域課題過疎化について、1週間のフィールドワーク(農作業や地域行事への参加)を通して課題の調査を行う。見えてきた課題に対する、解決への取り組みを学生自ら企画をし実践する。	https://www.youtube.com/watch?v=xYKITjfFzLE (ホンダロジコム公式YouTube) https://www.agu.ac.jp/topics/%E5%81%A5%E5%BA%B7%E6%A0%84%E9%A4%8A%E5%AD%A6%E7%A7%91%E3%81%AE%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%81%8C%E3%80%81%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E3%83%BB%E5%8E%9A%E6%B2%A2%E9%83%A8%E7%94%BA%E3%81%AE%E8%BE%B2%E7%94%A3/ (愛知学院大学Webページ)
12		経営学部	2年、3年、4年	選択科目	製造業、飲食業	(株)角千本店	・講義:「バーチャルカンパニーⅠA」、「バーチャルカンパニーⅠB」、「バーチャルカンパニーⅡA」、「バーチャルカンパニーⅡB」 ・取組の概要: 仮想の企業を立ち上げ、企業や団体などと協力して実際に商品開発などに取り組む。起業にあたって求められる創造力、持続力、チャレンジ精神、行動力の重要性を体験的に学習する。これまでも「なごめん」や「きしめんチップス」など複数の商品を開発し、販売している。受講生によってチームを作り、それぞれの能力を持ち寄り、商品の開発や販売にかかわる様々な問題解決に取り組む。 経営学部の専門教育科目「バーチャルカンパニー」は、学生が個人やグループで仮想企業を立ち上げて経営を行う超実践科目。講義で学んだ知識を総合して、様々な意思決定に関わる。外部の企業や団体と協力して、商品開発を行い、パッケージをデザインし、宣伝し、販売まで行う。 例えば、2020年度には愛知県の郷土食である「きしめん」の消費拡大を目指した活動に取り組んだ。名古屋市内の老舗麺メーカー・角千本店ほかの企業と協働して進められるプロジェクトは、2015年にスタート。 以来、毎年引き継がれ、2020年11月に京都大学で開催されたユースエンタープライズトレードフェアでは、ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチームに贈られる「京都中小企業家同友会賞」を受賞。2021年には新商品「きしめんチップス(みそ味)」も販売された。	https://keiei.agu.ac.jp/faculty-features/#feature-01 (愛知学院大学Webページ)
13	愛知淑徳大学	交流文化学部	2年、3年	ゼミ・研究室	飲食業、不動産業、卸売業、サービス業	株式会社折兼ホールディングス、東山遊園株式会社	「脱プラスチックを考える」きっかけとなるポップアップカフェを星が丘テラス内にオープンした。2023年12月に、産学連携で名古屋新土産として、愛知淑徳大学交流文化学部 林ゼミ生が商品開発した「ぴよりん」のどら焼き「ぴよどら」を活用して、飲料の提供について土分解ができる地球にやさしい容器「バガスカップ」(折兼提供)を使用して、飲み終えたカップに花苗を植えて自宅にお持ち帰ってもらい、植木鉢や花壇にカップのまま植えて頂き、数か月後には土壌分解された様子をインスタグラムに投稿・報告をしてもらう取り組みだった。	https://www.toretabi.jp/news/topics/entry-15275.html (トレたびWebページ) https://www.hoshigaoka-terrace.com/newsevent/2249/ (星が丘テラスWebページ) https://news.nissyoku.co.jp/news/tsubouchi20250107043730506 (日本食糧新聞掲載記事)
14		ビジネス学部	2年	ゼミ・研究室	製造業	ナカモ株式会社	ゼミナールにおいて、①味噌を若者に普及させるためのプロジェクトを実施、味噌を用いたクレープの開発、販売、我楽多文庫様・ナカモ様コラボの手羽先開発、手羽先サミットでの出店などを行った、②2025年度に向けて、製品共同開発に取組中	https://www.aasa.ac.jp/live/pursuit/009470.html https://www.aasa.ac.jp/live/pursuit/009134.html (愛知淑徳大学Webページ)
15		ビジネス学部	3年	必修科目	製造業、小売業、金融・保険業、サービス業	—	「イノベーション・チャレンジプログラム」という名称のPBL科目を1年間にわたって、ビジネスイノベーション専修必修で開講。中京テレビ様であれば「若者がテレビ番組を視聴するための企画」など、連携先企業が抱える問題を提示、その解決を目指す。	https://www.aasa.ac.jp/live/pursuit/009231.html (愛知淑徳大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2024年度)

	大学名	対象学部	対象学年	授業形態	協力企業の業種	協力企業名	講義及び取組の概要	Webページ
16	金城学院大学	国際情報学部	4年	ゼミ・研究室、必修科目	サービス業、通信業、製造業	豊田合成株式会社、クロスプラス株式会社、株式会社中日新聞社	自動車用エアバッグ素材をアップサイクルした防災グッズの開発を行なった。能登半島地震で被災し、避難所で暮らす女性たちがSNSで発信した「化粧できないストレス」に着目。エアバッグ素材＝命をまもる素材であることから、「新しいまもり方、見つけました。」をコンセプトに、被災時に情報を「まもる」携帯電話と、ひと塗りするだけで前向きな気持ちを「まもる」リップケース付きスマホホルダーストラップを企画した。商品のコンセプト、デザイン、ネーミング、監修、プレスリリース、ポスター制作、店頭販売を学生が行い、購入者の声を収集・分析して協力企業にレポートした。ブランド名「CharLip(チャーリップ)」はチャーミングとリップを掛け合わせた造語で、英語担当教員にも監修していただいた。	—
17		国際情報学部	3年	必修科目、ゼミ・研究室	通信業	東海テレビ放送株式会社	学生が関心のある社会課題を出し合い、「世代間ギャップ」「いじめ」「震災(能登半島地震)」「戦争」「就活」の5つに絞って2～3人のチームで取材・考察・発表を行なった。東海テレビは3ヶ月間に渡って5チームの密着取材を行い、番組とCMを制作・放映。民間放送連盟賞などを受賞した。	https://www.youtube.com/watch?v=PCIVBDgrBs4&list=PLSpUqO56sG4dKlfnu7i_n7sjr7yhYvIIIM&index=1 (東海テレビ公式YouTubeチャンネル)
18		国際情報学部	3年	ゼミ・研究室、必修科目	金融・保険業	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社	社会貢献事業として行われている企業による若者向け、金融経済教育の具体案を、社長、執行役員の方々に提案する活動。2017年度から8年連続で取り組んでいる。	https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/news/detail/?id=1969 (金城学院大学Webページ)
19	至学館大学	健康科学部	1年、2年、3年、4年	必修科目	サービス業	株式会社musbun	本学では、現代教養科目「人間力総合演習」を全学生対象の必修科目と位置付けている。「自己を育てる人間の育成(自己形成力)」をねらいとし、学生の多様な目標達成や課題克服のためのチャレンジを支援する科目。学生は、多様な地域活動(ボランティア活動を含む)やインターンシップ等の中から興味・関心あるものを自由に選び、参加・活動を行っている。選択肢の1つに株式会社musbunが提供する福祉活動マッチングアプリ、就活支援アプリを取り入れ、参加を希望した学生が自ら活動先に受入依頼をし、活動を行っている。	・授業科目「人間力総合演習」の紹介 https://www.sgk.ac.jp/faculty/global-citizenship/ex-center/ (至学館大学Webページ) ・活動事例(2023年) https://www.sgk.ac.jp/news/sgk_news/005178.html (至学館大学Webページ) ・株式会社musbun HP https://www.musbun.jp/#partner
20	相山女学園大学	生活科学部 生活環境デザイン学科	3年	ゼミ・研究室、ほか有志	小売業、商社	瀧定名古屋株式会社・名古屋市身体障害者福祉連合会第一ワークス・第一デイサービス	生活環境デザイン学科の有志学生(1-4年)が参加するululaの活動で連携している。年に8回程度エシカル関連のマルシェに参加している。マルシェ以外にはやながせ倉庫団地で常設販売を行っている。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd0000007csp.html (相山女学園大学Webページ)
21		情報社会学部 情報デザイン学科	1年	必修科目	製造業	株式会社デンソー	基礎演習において株式会社デンソーと協働で社会課題を解決するアイデアソンを実施し、アイデアソンでまとめたアイデアを発表するポスター発表会を実施した。また、アイデアソンを実施するために企業でも行われているアイデア創出のトレーニングもデンソーと連携して行なった。実施した活動は資料にまとめて、オープンキャンパス等で配布予定である。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd00000075ru.html (相山女学園大学Webページ)
22		現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	2年、3年	ゼミ・研究室	製造業、サービス業	株式会社ノーリツ・株式会社電通西日本	2016年度より株式会社ノーリツと連携を継続している「おふろ部」(おふろを持続可能な文化として継続していくための情報発信をすることを目的に、全国のおふろ部部員の大学生などが記事を投稿するWebメディア)の活動を2024年度も実施した。年度の前半では展開演習(3年)のゼミ生が、年度の後半では基礎演習(2年)のゼミ生が中心となり、記事の執筆、専門家による添削、記事の投稿を行っている。2024年10月5日(土)には夏のサミットが大阪で開催され、2025年2月23日には冬のサミットが名古屋(本学)で開催した。サミットでは活動発表を行うとともに、全国の大学生おふろ部部員とワークショップを行った。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd0000007bsa.html (相山女学園大学Webページ)
23	中京大学	全学部	1年、2年、3年、4年	課外	施設管理	株式会社瑞穂LOOPーPFI	パロマ瑞穂スポーツパークは現在、2026年のアジア大会、アジアパラ大会に向けて公園整備が行われている。産学連携による新たな取組を実施することで公園の価値を高め、地域のくらしを豊かにすることを目指し、参加学生は、2025年10月にリニューアルオープンする南児童園で”つながる”イベントを企画し、発表を行う。本プロジェクトは参加者を3チームに分け、チーム活動を中心に進め、発表した企画を、地域住民や関係者と調整しながら当日のイベント運営まで担う。	https://www.chukyo-u.ac.jp/news/2024/12/024527.html (中京大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2024年度)

	大学名	対象学部	対象学年	授業形態	協力企業の業種	協力企業名	講義及び取組の概要	Webページ
24	名古屋学院大学	経済学部	1年、2年、3年	選択科目	製造業、サービス業	(春学期)TOPPAN株式会社、有限会社シンカイ (秋学期)株式会社デンソー、株式会社プロトコーポレーション	以下のWebページ参照 https://www.ngu.jp/economics/bip/	https://www.ngu.jp/economics/bip/ (名古屋学院大学Webページ)
25		現代社会学部	1年、2年、3年、4年	インターンシップ	小売業、飲食業、サービス業	株式会社妙香園 チャリチャリ株式会社 株式会社 musbun	大学での事前・事後学習を含む長期インターンシップ	https://www.ngu.jp/social/action/katudou/ (名古屋学院大学Webページ)
26		商学部	2年、3年	ゼミ・研究室	小売業、金山商店街振興組合	金山商店街振興組合(商店街内の小売店)	専門演習活動の一環として、大学の立地している熱田区内の商店街の一つである金山商店街振興組合と連携した取組みを実施している。 取組内容は、商店街が開催する複数のイベント運営をサポートしている。またイベントに出店する際の商品企画から販売までを学生主体で行う。この活動を通して、商店街の組合員の意識変化や地域の活性化を目指している。	https://www.ngu.jp/attempt/commerce240724/ https://www.ngu.jp/news2/media241112/ (名古屋学院大学Webページ)
27		経営学部	1年(2024年度新設学部により、1年生のみ在籍)	あいちの山里く大学生による地域資源磨き上げ大作戦！)	通信業、愛知県	CBCクリエイション、愛知県	愛知県の三河山間地域関係人口拡大事業の一環である「あいちの山里く大学生による地域資源磨き上げ大作戦！」のフィールドワークに参画。地域資源の磨き上げアイデアを発表。	https://www.ngu.jp/attempt/b_241130/ (名古屋学院大学Webページ)
28		外国語学部	1年	必修科目	運輸業	株式会社フジトランスコーポレーション	本学部の企業連携プログラムは、必修科目の「基礎セミナー」と企業が連携するというもので、2024年度は 株式会社フジトランスコーポレーションの協力を得て行われた。プログラムの目的は、実際のビジネス課題に取り組むことで、学生が「解決策を考える力」を伸ばし「自分の成長を実感する」ことである。対象は1年生全員である。まず、2024年4月15日に企業から課題が提示され、その後、約3ヶ月間にわたり各クラスでチームを組み、解決策考えた。7月には各クラスで最優秀グループが選出され、7月2日と7月4日に企業の担当者の前で最終プレゼンテーションを行い、企業からのフィードバックを受けた。 学生は、この企業連携プログラムにおける「企業から直接課題を受け取り、発表し、フィードバックを受けることで、企業調査のノウハウを学び、実社会の課題について解決策を考える」という流れを通して1年次から企業に対する強い関心をもつことができ、4年間のより効果的な学修が可能になる。2025年度はさらに協力企業を増やす予定である。	https://www.ngu.jp/attempt/f240702/ (名古屋学院大学Webページ)
29	名古屋学芸大学	メディア造形学部	3年	集中講義、ゼミ・研究室	運輸業	JR東海(東海旅客鉄道株式会社)	JR東海沿線の“いいもの”お取り寄せWebサイト「いいもの探訪」における、「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」制作	https://e-mono.jr-central.co.jp/shop/g/gSZ070430002/ (いいもの探訪Webページ)
30		メディア造形学部 ヒューマンケア学部	2年、4年	ゼミ・研究室、学生有志	不動産業、商社	株式会社オープンハウス・ブラザー販売株式会社	名古屋市営地下鉄「東山公園駅」における地域の子育て世代に優しい案内表示制作	https://edu.chunichi.co.jp/news/detail/12441/u00040 (中日進学ナビWebページ)
31		メディア造形学部	3年	学生有志	医療業	愛知県歯科医師会(愛知県受託事業)	「令和6年度カムバック研修会」フライヤー 「歯科衛生士つないでネットのご案内」ポスター制作	https://www.aishi.or.jp/bank/news/comeback2023/index.html https://www.aishi.or.jp/bank/news/dhposter/index.html (歯科衛生士つないでネットWebページ)
32	南山大学	経営学部	3年、4年	ゼミ・研究室	小売業、金融・保険業	名古屋銀行、AKKODiSコンサルティング株式会社、株式会社 美販、株式会社ナカノモードエンタープライズ	ゼミ内で4回、ディスカッションと発表を行った。	—
33	日本福祉大学	看護学部	4年	選択科目	不動産業	独立行政法人都市再生機構(UR)	“国際保健演習を履修する看護学部4年生6名が、外国籍住民が多く暮らす知立団地で地区踏査を行い、小学校、商店街、公園などから生活環境の調査を行った。 また、団地内にある知立市多文化共生センター(もやいこハウス)「NPO法人みらい」の代表理事の講和を基に、外国籍の親子の生活について質疑応答や討議を行った。”	https://www.n-fukushi.ac.jp/education/academics/nursing/news/2023/12/04/69971eb3f7f0b306e0983908f887aa596136f268.html (日本福祉大学Webページ)
34		経済学部	3年	ゼミ・研究室	金融・保険業	株式会社あいち銀行	経済学部で地域金融を学ぶ谷地ゼミ所属の3年生15人が、あいち銀行、Plus Fukushi株式会社と連携し、「スタートアップを視野に入れた新規事業の創出」に取り組んでいる。約3か月間、高齢者をターゲットとした新たな事業について検討を重ね、最終報告会では、あいち銀行の執行役員が出席し、学生たちが自ら練り上げたビジネスモデルの提案報告会を行い、企画のプレゼンテーションも行った。	https://www.n-fukushi.ac.jp/about/news/2024/07/19/159d99d7ba2aeef5f471963be612a8f1f6f1855.html (日本福祉大学Webページ)
35		健康科学部	3年	研究事例発表会	医療・保健業	JA愛知厚生連	健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻の学生が、JA愛知厚生連の介護老人保健施設が実施する研究事例発表会に参加し、多職種連携のあり方や職員の育成プログラム「介護ラダー」について事例を通じて学んだ。また、実践事例3例の報告とその事例に関するディスカッションを行い、介護福祉士の実践課題やキャリアパスについても学んだ。	https://www.n-fukushi.ac.jp/education/academics/health-sciences/news/2025/03/17/5c0c6fe55f29c44394b224aadedf2d1ec815363b.html (日本福祉大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2024年度)

	大学名	対象学部	対象学年	授業形態	協力企業の業種	協力企業名	講義及び取組の概要	Webページ
36	名城大学	経営学部	2年	選択必修科目	商社 機械	株式会社羽根田商会	経営学部「キャリア特論」では、企業・業界動向を理解するための講義、企業から提示されたリアルな課題に取り組むグループワーク、実際に現場を体験する企業実習、課題解決案のプレゼンテーションの流れで実施している。学生が自身の「働く姿」＝キャリア像を明確化することとそれを実現するために不可欠な能力を明確化することを目標としている。 2024年度は協力企業である「株式会社羽根田商会」が取り扱っているネットワークカメラを、「市場分析」「目標顧客の設定」「販売戦略」「予想される課題と解決策」を踏まえて、新市場に投入するプロジェクトプランを作成することをテーマに取り組んだ。	「キャリア特論」過去の取り組み紹介 https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/detail_27325.html （名城大学Webページ）
37		情報工学部	3年	選択必修科目	情報通信業	トヨタコネクティッド株式会社	情報工学部3年後期開講のPBL型の実験科目である「先進プロジェクト実験2」は、実社会に存在する様々な課題の解決に取り組む実験である。トヨタコネクティッド株式会社の企画・開発現場で活躍する社員に講師を担当していただき、学生が取り組む社会的課題の提示と解決へと向かう活動を指導していただくとともに学生の成果物を評価していただいた。	正課外プログラムで実施していた際の情報（2023年度） https://www.meijo-u.ac.jp/event/detail_29316.html （名城大学Webページ）
38		経営学部	2年、3年	ゼミ・研究室	小売業、飲食業	株式会社ATグループ、UCCジャパン株式会社	経営学部の専門ゼミナールで、愛知トヨタのショールームで提供するオリジナルのブレンドコーヒーと紙カップを株式会社ATグループと共同で開発した。開発に向けて、ショールームの見学や株式会社ATグループとの意見交換、UCCジャパン株式会社の協力を得てコーヒーセミナーを開催していただき、店舗の運営やコーヒーに関する理解を深めた。その後、学生が考えたコーヒーのコンセプト「過去と未来が交差するコーヒー」を表現したブレンドコーヒー4案、商談で会話のきっかけとなることを考えた紙カップのデザイン3案とあわせてコーヒーを通して愛知トヨタと顧客の関係をより深いものにする企画の提案をおこなった。決定したブレンドコーヒーと紙カップは、2025年初夏頃から実際にショールーム等で提供される予定である。このゼミナールでは、「産直店舗の活性化策を提案」「ふるさと納税の黒字化策提案」なども企業・自治体と連携して実施している。	https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_30568.html https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_30834.html https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_28201.html https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_29469.html （名城大学Webページ）